

世界のパラダイムシフトへ挑む 日本の課題



行天豊雄
日本CFO協会 理事長

●プロフィール(ぎょうてんとよお)
1955年東京大学経済学部卒業、大蔵省(現財務省)入省、84年大蔵省国際金融局長、86年財務官。90年ハーバード大学客員教授、プリンストン大学客員教授。92年～96年東京銀行取締役会長。96年東京三菱銀行相談役に就任。95年より国際通貨研究所理事長。2000年日本CFO協会理事長。

21世紀の経営評価



福原義春 氏
資生堂 名誉会長

●プロフィール(ふきはらよしはる氏)
1931年東京生まれ。53年慶応義塾大学経済学部卒業と同時に株式会社 資生堂入社。87年代表取締役社長、97年代表取締役会長を歴任。2001年名誉会長に就任。東京都写真美術館長、社団法人 企業メセナ協議会会長兼理事長、社団法人 日本経済団体連合会事業委員長など公職多数。主な著書に「猫と小石とディアギレフ」集英社(2004)、「自分らしい仕事があるあなたを変える!」青春出版社(2005)等、共著・対談を含め70余の著書を執筆。

経営新時代のリーガルマインド 会社法・金融商品取引法の読み方



上村達男 氏
早稲田大学 法学部長

●プロフィール(うえむら たつお氏)
1948年東京都生まれ。71年早稲田大学法学部卒業、77年早稲田大学大学院法学研究科博士課程修了。97年早稲田大学法学部教授。2003年早稲田大学21世紀COE「企業法制と法創造」総合研究所所長。主な著書に、「会社法改革—公開株式会社法の構想—」岩波書店(2002)、「インサイダー取引規制の内規事例」商事法務研究会(1998)など。法制審議会会社法(株券不発行等)部会委員(法務省)、産業構造審議会臨時委員(経済産業省)、東京証券取引所自主規制委員会委員などを歴任。

グローバルな経営戦略の新潮流と 日本企業における実践



澤田宏之 氏
ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン 代表取締役

●プロフィール(さわだ ひろゆき氏)
山武ハネウエル、ボストン・コンサルティング・グループにて活躍した後、コーポレート・ディレクションを設立。米国タワーズペリリング社の取締役、ジェミニ・コンサルティングの代表パートナーを経て現職。マネジメントコンサルタントとして、「事業変革」に関する経験が豊富。株式会社ロービス、株式会社サイバード、株式会社リヴァンプ等の社外取締役。

リード・スポンサー

accenture
ハイパフォーマンスの実現へ

SAP

ORACLE

Hyperion

protiviti
Independent Risk Consulting

BearingPoint

プラチナ・スポンサー

IBM

NTTビジネスアソシエ

Cartesis

SUNGARD

ZACATI
CONSULTING

新日本監査法人
ERNST & YOUNG

IT Solution Innovator
iSiD

ゴールド・スポンサー

DIVA

LW
Lightworks

CFOパートナー

THOMSON
R-PROMETRIC

税務研究会

U.S. Education

(スポンサー・パートナー掲載各企業名50音順)

参加要領

日時：2006年12月7日(木) 8:45~17:40 (8:00開場)
会場：帝国ホテル(東京・千代田区)
定員：500名(定員になり次第、締切らせていただきます)
参加費 (テキスト代、昼食会、消費税含む)
：FAX・郵送申込 29,400円
WEB申込 **割引価格**
一般 …………… 27,300円
会員 …………… 22,000円(日本CFO協会会員、FE・ITフォーラム会員)

※会員の方もFAX・郵送申込された場合、上記FAX・郵送申込価格(29,400円)が適用されますのでご注意ください。

主な対象者：企業経営者、経営幹部層、財務担当役員及び財務部長層
金融機関法人担当職員。日本CFO協会会員、FE・ITフォーラム会員。

特典：今回のフォーラム参加者には経営財務情報誌「CFO FORUM」の最新号を無料進呈します。

お願い：● テープレコーダーなどの記録機器の持込みはご遠慮ください。
● テキスト、資料等は当日会場でお渡しいたします。参加者以外の方にはお預けいたしません。
● 参加される方のご都合が悪い場合は、代理の方のご出席をご考慮願います。

聴講証：聴講証は、当日会場にてお渡しいたします。

お申込はこちらまで

<http://www.cfo.jp/>



会場ご案内

帝国ホテル
■所在地 〒100-8558 東京都千代田区内幸町1-1-1
TEL:03-3504-1111 FAX:03-3581-9146



交通のご案内

- 最寄駅(徒歩)
 - ・JR 有楽町駅 5分、新橋駅 7分
 - ・地下鉄 日比谷駅 3分、銀座駅 5分、有楽町駅 7分
- 東京駅より
 - ・タクシーにて約5分
 - ・JR山手線、京浜東北線にて有楽町駅下車(15分)
- 羽田空港より
 - ・タクシーにて約45分
 - ・モノレールにて浜松町駅経由、JR新橋駅又は有楽町駅下車(40分)
 - ・京浜急行新橋駅下車(40分)
- 成田空港より
 - ・タクシーにて約90分
 - ・リムジンバスにて約90分(直通)
 - ・成田エクスプレスにて東京駅経由、JR有楽町駅下車(90分)

お問合せ先

- ▶企画内容・お申込についてのお問合せ先
 - 日本CFO協会 事務局
 - TEL ▶ 03-3556-2334
 - FAX ▶ 03-3556-2320
 - E-mail ▶ info@cfo.jp
- ▶請求書についてのお問合せ先
 - 社団法人 金融財政事情研究会
 - 「第6回 CFOフォーラム・ジャパン2006」係
 - TEL ▶ 03-3358-0018
 - FAX ▶ 03-3359-7947
 - E-mail ▶ jimu-seminar@kinzai.or.jp

「第6回 CFOフォーラム・ジャパン2006」実行委員会事務局
<http://www.cfo.jp/>

CFO FORUM Japan

Chief Financial Officer

第6回 CFOフォーラム・ジャパン 2006

経営新時代への挑戦

日時：2006年12月7日(木) 8:45~17:40 (8:00開場)

場所：帝国ホテル(東京・千代田区)

Executive program

【主催】

日本CFO協会
Japan Association for Chief Financial Officers
東京都千代田区平河町2-7-1塩崎ビル2F
<http://www.cfo.jp/>

【特別協力】

社団法人 金融財政事情研究会
Kinzai Institute for Financial Affairs, Inc.
東京都新宿区南元町19
<http://www.kinzai.or.jp/>

Microsoft

経営新時代への挑戦

約100年ぶりとなる商法大改定、「新会社法」の施行により、日本型経営システムはドイツなど大陸法を中心とした枠組みから大きな転換を図り、株主主権論に基づく米国型資本主義へ大きく近づくことになりました。さらには、米国SOX法に続いて日本版SOX法(金融商品取引法)も制定されるなど、資本市場を意識した経営の考え方は、社会的インフラとして企業経営により大きな影響を与えています。資本市場では、既に敵対的買収(TOB)なども珍しい手段ではなくなっています。しかしその一方、行き過ぎた株主主権論が浸透するなかで証券不祥事が相次いだほか、理念や戦略の無いM&Aも散見されるようになってきました。まさに「会社とは何か」といった企業経営の本質が大きく問われ、経営の品質が問われる時代が到来したと言えるでしょう。

第6回CFOフォーラム・ジャパン2006では、こうした経営課題の総括として、企業経営の原点へと回帰しながら、経営財務の新しい考え方や経営手法、さらにはIT技術の進展を背景としたさまざまな経営管理のテクノロジーが生み出す可能性にも眼を向けることで、CFOをはじめとする経営財務の幹部の皆様方の一助となる機会をご提供したいと考えております。

このフォーラムにご参加いただくことで、皆様方の日々の経営マネジメントにおける手がかりをご提供できますことを心より願っております。

日本CFO協会 理事長 行天豊雄 Financial Officer
社団法人 金融財政事情研究会 理事長 吉田正輝

第6回CFOフォーラム・ジャパン2006・全体プログラム

8:00- 開場
8:45-9:00 ご挨拶 吉田正輝 社団法人 金融財政事情研究会 理事長

9:00-9:50
オープニング講演 「世界のパラダイムシフトへ挑む日本の課題」
行天豊雄 日本CFO協会 理事長

10:00-10:50
基調講演 「経営新時代のリーガルマインド」—会社法・金融商品取引法の読み方—
上村達男氏 早稲田大学 法学部長

11:10-12:00
分科会 エグゼクティブ・プログラム
プロフェッショナル・セッション (4つのセッションから選択・先着順)
・第1セッション ※見開きのページよりお選びください

12:20-13:30
昼食会 CFOランチョン ゲストスピーチ
「21世紀の経営評価」
福原義春氏 資生堂 名誉会長

13:50-16:30
分科会 エグゼクティブ・プログラム
プロフェッショナル・セッション (各時間帯ごとに4つのセッションから選択・先着順)
・第2セッション 13:50-14:30 ※見開きのページよりお選びください
・第3セッション 14:50-15:30
・第4セッション 15:50-16:30

16:50-17:40
特別講演 「グローバルな経営戦略の新潮流と日本企業における実践」
澤田宏之氏 プーズ・アレン・アンド・ハミルトン 代表取締役

※本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

エグゼクティブ・プログラム

[参加要件] 上場企業のCFOもしくは財務担当役員クラス
日本CFO協会法人会員の代表者

●会場：雅 錦 Miyabi Nishiki

11:10-12:00
分科会
これからのCFOアジェンダ

野村直秀氏
アクセンチュア
財務・経営管理サービス統括 エグゼクティブ・パートナー



■セッションの紹介
90年代以降の金融・会計ビッグバンや急速なグローバル化によりCFOが対応すべき課題は、益々増加している。この数年にも、内部統制等新たなチャレンジも差し迫っている。これらにどのようにCFOとしては対処していくべきかを議論する。

13:50-15:30
討論会 拡大CFOラウンドテーブル



企業の情報開示と健全な
資本市場の発展に向けて

[問題提起]

上村達男氏
早稲田大学 法学部長



[進行役]

関 哲夫氏
新日本製鐵 常任監査役



関 哲夫氏
新日本製鐵 常任監査役
●プロフィール(せき てるお氏)
1963年大阪大学経済学部卒、八幡製鐵株式会社(現新日本製鐵株式会社)入社。91年経理部長、93年取締役、97年常務取締役、2000年代表取締役副社長(CFO)、03年常任顧問、04年常任監査役。

15:50-16:30
分科会
現代経営に不可欠なCFOによる
コーポレートガバナンスのイノベーション
経営層としてのCFOが意識すべき内部統制のあり方とリスクマネジメントから健全なコーポレートガバナンス構築へのプロセスを考える
神林比洋雄氏 プロテビティ ジャパン 代表取締役社長



■セッションの紹介
企業として実現すべき健全なコーポレートガバナンスに対してCFOが担う役割は、ステークホルダーへの説明責任という観点から、大変大きいものがある。今般の金融庁の内部統制法制にも必要な対応を行い、更にリスクマネジメントを通して企業価値向上を図りたいと考える企業も多い。本セッションでは、最新の情報と各企業に行ったアンケートをもとに、日本企業としてあるべきガバナンス構築のプロセスをグローバルな視点から考察していく。

※エグゼクティブ・プログラムにご参加いただけますと、無料でエグゼクティブ・メンバーとして日本CFO協会の個人会員にご入会いただけます。

プロフェッショナル・セッション (選択制・先着順)

各時間帯ごとに4つのセッションからご希望のセッションをご選択ください。

●会場：鶴 Tsuru

第1セッション
11:10-12:00
1A
持続可能な内部統制
リスクマネジメント基盤構築に向けて



中野浩志氏
SAPジャパン
FCMソリューション部長
日本CFO協会主任研究委員
米国公認会計士
内部統制評価指導士

■セッションの紹介
内部統制を継続的に維持運用しつつ長期的な費用低減のための内部統制基盤をどのように構築すべきか。本セッションでは、日本独自の内部統制基本要素である「ITへの対応」にフォーカスして米国における課題と現状、ERPの活用と盲点、最新内部統制ツール活用法、将来のリスクマネジメントへの展開などについて事例を交えて紹介する。

第2セッション
13:50-14:30
2A
CFOによる企業変革
アウトソーシングの活用



渡邊達雄氏
日本アイ・ビー・エム
BTO事業 BTOソリューション
担当パートナー

■セッションの紹介
内部統制の実現、グローバル・グループ連結経営、コスト削減などCFOが取り組むべき課題は大きい。課題を解決するための手法として、現在のアウトソースの考え方と事例を紹介する。

第3セッション
14:50-15:30
3A
ERM(リスク管理)からEFM(未来管理)へ
内部統制を企業価値向上へ結びつけるために



岡田勝人氏
ディバ
開発本部 Planning事業推進部
マネージャー

■セッションの紹介
内部統制を方法論として活用することで、リスク管理を推進できる。しかし、企業価値向上にはリスク管理だけでなく、事業投資の実例を通して考え、事業を数字でデッサンするためのポイント、ファイナンスや理論で「知っている」だけではなく「活用する」ためのポイントを整理していく。

第4セッション
15:50-16:30
4A
企業改革法対応の現場で何が起きているか
日米先進企業の事例に学ぶ



森本親治氏
新日本監査法人
アドバイザーサービス本部
内部統制統括部長
公認会計士
日本CFO協会主任研究委員

■セッションの紹介
日本企業改革法は資本市場のグローバル化を背景にした同様の規制であり、日本の実施基準公表を待って最低限の対応さえすればよいという付和雷同型の姿勢は一流企業である限り許されない。多くの有力企業が直直し、真摯に取り組んでいる主要課題を先端現場から紹介する。

●会場：扇 Ohgi

1B
経営新時代に求められる
シェアードサービスの意義と適用事例
コスト削減・業務効率化を行い、財務報告の信頼性向上と決算早期化を実現



岡岡 繁氏
日本オラクル
取締役ファイナンス本部兼IT・総務担当
常務執行役員最高財務責任者
ファイナンス本部長

■セッションの紹介
一つの業務プロセス、情報基盤をグループ全体で利用することにより、コスト削減や業務の効率化が図れるだけでなく専門性の高いサービスが可能となり、正確性、迅速性、正当性を兼ね備えた業務運営の高度化が実現する。シェアードサービスは、効率的なためだけでなく、財務報告の信頼性向上と決算の早期化、コーポレート・ガバナンスにおける最も効果的な経営手法の一つである。本セッションでは、オラクルコーポレーションと日本オラクルでの適用事例とともにシェアードサービスのあり方を紹介する。

2B
社員力強化のための情報基盤整備
情報経済時代に求められる経理財務プロフェッショナルの役割



米野宏明氏
マイクロソフト
インフォメーションワーカージネス本部
シニアプロダクトマネージャ
日本CFO協会主任研究委員

■セッションの紹介
膨大に流通する情報をいかにして価値に変え、ビジネスを駆動させるか。情報を扱う人の生産性が競争力を左右する時代に入った。次世代の情報活用環境と経理財務プロフェッショナルの役割について解説する。

3B
事業投資とファイナンス
リスクとリターンをいかに把握するか



岡崎京介氏
レジックス
代表取締役

■セッションの紹介
リスクとリターンをどのように把握し、記述し、意思決定に結びつけるかを、事業投資の実例を通して考え、事業を数字でデッサンするためのポイント、ファイナンスや理論で「知っている」だけではなく「活用する」ためのポイントを整理していく。

4B
ストックオプション戦略
企業価値を高めるストックオプションの活用法



棟田裕幸氏
ブルータス・コンサルティング
取締役

■セッションの紹介
2006年5月の費用化義務により、企業経営者はより効果的このままの個別的な経営管理では、企業の競争優位を実現するマネジメントは難しい。企業のカバーバリエティを統合的に捉え、経営から業務、業務からITまでの一貫したフレームワークを構築していくことを、「ビジネス構造化」として推奨する。

●会場：舞 Mai

1C
企業価値向上のための内部統制
発展性を持たせたJ-SOX対応とは



川野克典氏
ペリリングポイント
ワールドクラス・ファイナンス
マネージング ディレクター

■セッションの紹介
日本版SOX法に後向きに対応するところからは、文書化やその保守の作業ばかりが増加し、新たな価値は生まれない。日本版SOX法対応を企業革新の絶好の機会として捉え、日本版SOX法を超えて、企業価値向上に寄与する取組みが必要である。

2C
J-SOX、その先にあるものは?
現場での運用から考える、効率的なJ-SOX対応とグループ経営強化



井上順一氏
電通国際情報サービス
ビジネスソリューション事業部
プリンシパル
公認会計士 税理士

■セッションの紹介
J-SOXへの対応は文書化で終わりはしない。運用を通じて、業務の改善を繰り返すことにより、企業グループ全体の価値を高めていくことが重要だ。プロジェクトの課題と対策の検討から、その先を見据えた効率的なプロジェクト推進方法を、事例を基に解説する。

3C
財務管理システムの効果的導入方法
これから財務管理システムの導入を検討される担当者の方へ



柳 洋二郎氏
サンガード アジア パシフィック
ディレクター
トレジャリー・ソリューション

■セッションの紹介
昨今、多くの企業で財務管理システムの導入を検討されている。これからシステムの導入を検討される企業を持つ基本的な疑問である。事前検討や導入フェーズの作業内容、どのように進めると効果的か等について事例をもとに紹介する。

4C
これからの経営管理フレームワーク:
「ビジネス構造化」
パフォーマンス/リスクマネジメント/ITの統合マネジメントフレームワーク



武井 淳氏
ザカティールコンサルティング
サービス統括フェネラルマネージャ
ディレクター
米国公認会計士

■セッションの紹介
これまでの個別的な経営管理では、企業の競争優位を実現するマネジメントは難しい。企業のカバーバリエティを統合的に捉え、経営から業務、業務からITまでの一貫したフレームワークを構築していくことを、「ビジネス構造化」として推奨する。

●会場：彩 Irodori

1D
収益性向上を導く意思決定基盤
としての経営パフォーマンス管理



中村 潤氏
ハイベリオン
顧問アドバイザー

大場達生氏
ハイベリオン
サービス部
ソリューション
コンサルタント

■セッションの紹介
日本の好景気報道が続く中、欧米のCFOの調査では今後の収益性の低下が予想されている。変動し続けるビジネス環境下で、革新的な事業計画立案・予算編成、業績管理を通じて、高い収益性と内部統制の両立を実現する経営パフォーマンス管理(BPM)について解説する。

2D
経営戦略としてのM&A
CFOが取り組むべき課題は何か



松田千恵子氏
日本CFO協会主任研究委員
プーズ・アレン・アンド・ハミルトン
エグゼクティブ・ディレクター
マトリックス 代表取締役

■セッションの紹介
資本市場を無視しては企業経営は成り立たない。今後の戦略として注目されるM&Aをテーマに取り上げ、CFOに必要な経営管理の課題や資本市場への対応について考察する。

3D
経理・財務部門の業務改革
NTTグループの経理・財務のQCD向上に向けた取組事例



長谷川和弘氏
NTTビジネスアソシエ
取締役アカウンティング事業部長

■セッションの紹介
NTTグループ約160社の業務統合とシェアード化に向けた取組みを紹介。経理業務QCD(品質・コスト・納期管理)向上の観点から、グループ各社の全業務プロセスを細加し、Fit&Gap分析を実施するなど、弊社が参加した事例を紹介する。

4D
PFIから事業リスクファイナンスへ
プロジェクトファイナンスの手法の可能性



松本俊彦氏
みずほコーポレート銀行
プロジェクトファイナンス営業第二部
部長

■セッションの紹介
PFI事業に適する金融手法として急速に普及した我が国のプロジェクトファイナンス。そのリスクコントロール機能に注目し、新しい形の事業金融への応用を模索している。進化形「事業リスクファイナンス」の幅広い可能性を提示する。